

(別紙5)

補助事業番号 2017P-030
補助事業名 平成29年度 自転車安全利用等、自転車と人にやさしい健康で安全な社会
作りを推進する事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

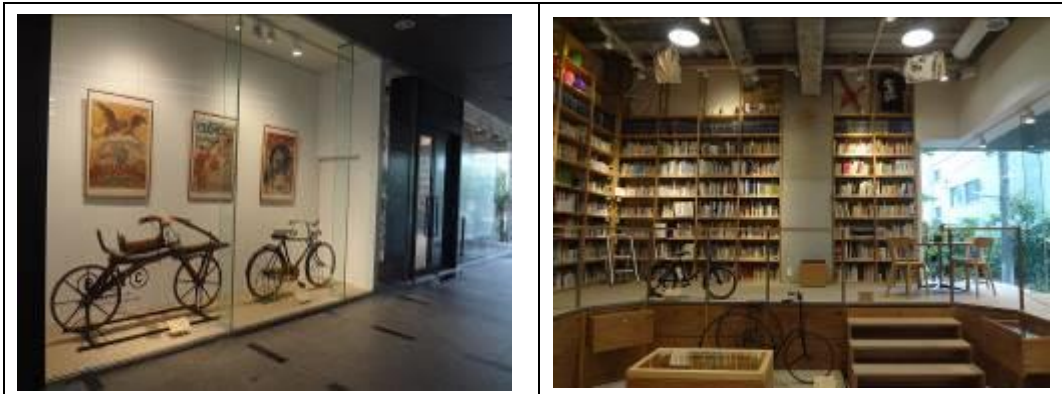
(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

1. 自転車情報提供事業

自転車の総合情報提供施設である「自転車文化センターライブラリー」を運営した。
(来場者数 6,367名)



自転車文化センターライブラリー正面

(専門図書・自転車展示)

また、自転車文化の継承と普及、人と自転車・社会と自転車との関わりを考える提案のための調査研究として、調査研究報告書を作成し全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等に配布した。[\(http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/\)](http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/)

2. 自転車普及啓発イベント

① 自転車月間イベント <http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2017/>

「自転車月間(自転車の日/5月5日)」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ 2017』を開催した(6,199名来場)



「サイクルドリームフェスタ2017」 入り口



「サイクルドリームフェスタ2017」 会場の様子

② 自転車に関する企画催事 (<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100237>)

下記の企画催事を開催した。

名 称：「2018 ハンドメイドバイシクル展」

期 間：平成 30 年 1 月 20 日(土)～21 日(日) (2 日間)

場 所：科学技術館 1 階 催物場

内 容：国内外のハンドメイドバイシクルのビルダー、メーカーの「実車展示」、
斬新な新機構を試作し製品化を目指している、またはすでに製品化されている
「独創的なパーツ展示」、ハンドメイドビルダー及びガールズケイリン選手による
トークショー、フレーム(パイプ)やすり掛け実演・体験開催

来場者数：計 3,002 人 (20 日 1,589 人/21 日 1,413 人)



会場の様子



ガールズケイリン梅川風子選手による
スペシャルトークショー

③ 自転車に関するテーマ展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の奥深い魅力や多様な活用法を紹介するため、以下 3 テーマのテーマ展示、3 テーマの特別展示を行った。※補助事業は(3)と(5)のみ

(1) 第 1 回テーマ展示「自転車月間・ツアー・オブ・ジャパン展」

期間：平成 29 年 4 月 12 日～7 月 2 日 来館者数：1,367 名

(2) 第 1 回特別展示「七月の輪祭～ツール・ド・フランス展」

期間：平成 29 年 7 月 5 日～30 日 来館者数：676 名

(別紙5)

(3) 第2回テーマ展示「-クラシックからキャラクターまで-ミニチュア自転車展」

期間:平成29年8月2日~10月29日 来館者数:1,623名

(4) 第2回特別展示「BCC自転車クイズ展」

期間:平成29年11月1日~12月3日 来館者数:628名

(5) 第3回テーマ展示「-1800年代から現代まで-女性自転車変遷の歴史展」

期間:平成29年12月6日~平成30年3月18日 来館者数:1,710名

(6) 第3回特別展示「日本における自転車レースの始まり展」

期間:平成30年3月21日~31日 来館者数:173名



「自転車月間・ツアー・オブ・ジャパン展」

「七月の輪祭~ツール・ド・フランス展」



「ミニチュア自転車展」

「BCC 自転車クイズ展」



「女性自転車変遷の歴史展」

「日本における自転車レースの始まり展」

④自転車出張教室

- (1)「自転車シミュレーターを使った自転車安全講習会」
日時 平成29年5月26日(金) 13:30~14:35
場所 品川区立戸越小学校 体育館
主催 品川区防災まちづくり部(土木管理課交通安全係)
参加者数 65名
- (2)「自転車とオートバイ事故を防ぎ、安全に快適に」アクティブラーニング講義
日時 平成29年6月30日(金) 9:00~10:30
場所 関東学院大学 フォーサイト404
参加者数 65名
- (3)「親子自転車交通安全教室」
日時 平成29年7月8日(土) 10:00~
場所 川崎市立西御幸小学校 体育館
主催 川崎市幸区PTA協議会
参加者数 350名
- (4)「シルバー人材センターにおける自転車事故状況と事故防止対策について」
日時 平成29年9月29日(金) 15:00~16:00
場所 東京しごとセンター 地下2階 講堂
主催 公益財団法人東京しごと財団
参加者数 176名
- (5)「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全教室」
日時 平成29年10月24日(火) 13:30~16:00
場所 東京しごとセンター 4階403教室
主催 公益財団法人東京しごと財団
参加者数 24名
- (6)「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全教室」
日時 平成29年11月7日(火) 14:00~16:00
場所 小島社会教育館2階ホール
主催 公益社団法人台東区シルバー人材センター
参加者数 39名
- (7)「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全教室」
日時 平成29年11月17日(金) 13:30~16:00
場所 東京しごとセンター 4階403教室
主催 公益財団法人東京しごと財団
参加者数 14名
- (8)「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全体験」
日時 平成29年11月18日(土) 11:00~12:00
場所 しながわ中央公園多目的広場
主催 品川区防災まちづくり部
参加者数 約200名
- (9)「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全マナー出張授業」
日時 平成29年12月20日(水) 9:50~12:00

(別紙5)

場所 千葉県立船橋法典高校
主催 一般社団法人自転車協会
参加者数 696名

(10)「自転車安全運転講習会」

日時 平成30年1月25日(木) 13:30~15:30
場所 平塚市役所 5階研修室
主催 平塚市
参加者数 26名

(11)「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全研修会」

日時 平成30年2月19日(月) 10:30~12:00
場所 川崎ふたば幼稚園ホール
主催 学校法人ふたば学園 川崎ふたば幼稚園
参加者数 17名

(12)「自転車シミュレーターを使った自転車交通安全講習会」

日時 平成30年2月23日(金) 10:00~12:00/13:30~15:30
場所 葛飾区シルバー人材センター3階会議室
主催 公益社団法人葛飾区シルバー人材センター
参加者数 午前16名/午後16名

(13)「東京サイクルデザイン専門学校教員レクチャー(道交法改正について)」

日時 平成30年3月17日(土) 14:00~15:30
場所 東京サイクルデザイン専門学校デザイン教室内
主催 学校法人水野学園 東京サイクルデザイン専門学校
参加者数 6名

(14)「走る視点・歩く視点 あなたを守る自転車講座-高齢者の自転車事故を防ぐために-」講演

日時 平成30年3月19日(月) 14:30~16:00
場所 文京シビックセンター スカイホール
主催 社会福祉法人福音会 文京区富坂地域包括支援センター
高齢者あんしん相談センター富坂
参加者数 25名



親子自転車交通安全教室
(川崎市立西御幸小学校)



自転車シミュレーターを使った
自転車交通安全講習会
(台東区シルバー人材センター)



自転車交通安全講習会
(東京しごと財団)



「走る視点・歩く視点
あなたを守る自転車講座」
(高齢者あんしん相談センター富坂)

また、自転車の楽しみや魅力を伝えることを目指して、夏休み期間中に一般の人が参加・体験でき、特に子供たちが夏休みの自由研究にも活用できる教室を開催した。

開催名：自転車文化センター「夏休み自転車教室」

開催日：平成29年8月21日(月)、22日(火)／2日間開催

開催場所：科学技術館4階 実験スタジアムL

開催時間及び内容：

12：45～13：25 第1回「自転車は何故倒れないのか?」、「自転車に正しく乗りましょう」

14：30～15：10 第2回「自転車の素材を調べてみよう」、「自転車に正しく乗りましょう」

講師：「自転車は何故倒れないのか?」「自転車の素材を調べてみよう」／谷田貝一男

「自転車に正しく乗りましょう」／山口文知

参加人数：8/21(月) 第1回 子ども 39人、保護者 40人、計 79人

第2回 子ども 11人、保護者 9人、計 20人

8/22(火) 第1回 子ども 34人、保護者 29人、計 63人

第2回 子ども 16人、保護者 14人、計 30人

合 計 子ども 100人、保護者 92人、計 192人



夏休み自転車教室
「自転車は何故倒れないのか?」



夏休み自転車教室
「自転車の素材を調べてみよう」

3. 自転車による地域活性化促進事業

①全国統一自転車促進キャンペーン <http://www.bpaj.or.jp/?tid=100010>

バイコロジー運動の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。



統一（岐阜バイコロジー）



統一（沖縄バイコロジー）

②バイコロジー地域リーダー養成セミナー

http://www.bpaj.or.jp/file_upload/101195/_main/101195_01.pdf

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活発化を図るため、バイコロジー地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイコロジー運動のリーダー育成を目的としたセミナーを開催した。



18組織21名、一般22名他関係団体13名



合計56名参加

2 予想される事業実施効果

1. 自転車情報提供事業

自転車に関する様々な情報を提供することにより、日本における自転車文化の形成を促し、交通ルールやマナーなど正しい自転車の利用方法に関連する知識を身につけ、昨今続いている自転車ブームを更に成熟させる役割の一翼を担うことで、自転車産業の振興や人々の暮らしへの貢献に資することが期待できる。

また、社会的な課題など関心の高いテーマなどを取り上げることで、マスコミや地方

(別紙5)

自治体、一般の方からの問い合わせが増え、自転車文化センターの果たすべき役割である自転車文化の継承と普及が期待できる。

2. 自転車普及啓発イベント

① 自転車月間推進事業

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想され、「自転車の日」記念事業を通じて、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

また、平成29年5月1日付で議員立法による「自転車活用推進法」が施行され、同法第14条で「5月5日は自転車の日」「5月は自転車月間」ということが正式に定められ、本事業の意義と必要性が高まることが期待できる。

② 企画催事

自転車に対する人気と関心が高まり続けている。人々の余暇や暮らしの質を高める重要なツールとして、また高齢化社会に向けて、乗り手の体格や用途・年齢や体力に応じたオーダーメイド自転車の需要は、今後も益々高まると思われる。そのため、それらのニーズを満たす自転車を実際に目にし、それを製作しているハンドメイドビルダーと直接会話する機会を創出し、一般の方々に広く知ってもらうことで、今後の自転車文化、産業の維持、向上へと繋がる。

③ テーマ展示

自転車に関する様々な情報や貴重な資料や歴史的な自転車等の展示に触れることで、自転車に対する社会的な関心を高め、本センター来館者の自転車への興味を更に高める。

3. 自転車による地域活性化促進事

① 全国統一自転車促進キャンペーン

平成29年5月1日に「自転車活用推進法」が施行され、「5月5日を自転車の日」、5月を「自転車月間」と法律で定められたことにより、バイコロジー運動の必要性を確認しつつ、中央団体・各地方組織ともその基本に添った具体的実践活動を展開してきたことから、バイコロジー運動のより深い浸透が図られるとともに、国及び地方自治体における自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及啓発が進むものと期待され、本事業でもその一翼を担えるよう連携を深めたい。

② バイコロジー地域リーダー養成セミナー

「バイコロジー運動」の普及推進が進み、各地域におけるリーダーの育成により地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

自転車活用推進法第8条に定める重点的に検討・実施されるべき施策として上げられる15の施策の推進に寄与する人材育成の一翼を担うことが期待される。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・平成29年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書

(<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2017/>)



- ・平成29年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2017』
来場者案内用チラシ

チラシ(表)	チラシ(裏)



- ・自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット

パンフレット(表)	パンフレット(裏)

(別紙5)

- ・ 自転車文化センター研究報告書(第10号)

(http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/file_upload/100335/_main/100335_01.pdf)

	
<p>報告書 (表紙)</p>	<p>報告書 (目次)</p>

- ・ 「2018ハンドメイドバイシクル展」印刷物

	
<p>チラシ・ポスター</p>	<p>来場者アンケート</p>
	
<p>来場者用パンフレット (表)</p>	<p>来場者用パンフレット (裏)</p>

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所： 〒141-0021

東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代表者： 代表理事 田中栄作(タナカ エイサク)

担当部署： 事務局(ジムキョク)

担当者名： 事務局長 大島 武巳(オオシマ タケミ)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail： jifukyo@jifu.jp

U R L： <http://www.bpaj.or.jp>